

「鋼・合成構造標準示方書 総則編・構造計画編・設計編」講習会の案内

行事コード：252206

鋼構造委員会「鋼・合成構造標準示方書総則・設計編小委員会」では、最新の技術と知見に基づいた「鋼・合成構造標準示方書 総則編・構造計画編・設計編」の改定版をとりまとめました。

主な改定の内容として、リダンダンシーや構造ロバスト性に関する構造計画での配慮事項を充実するとともに、既往の検討事例を示しました。また、部材接合部等のインターフェースストラクチャーを対象とする有限要素解析や、既設構造物の性能評価に適用する構造解析に関わる留意事項を示しました。さらに、維持管理性の向上の観点から、耐腐食性向上のための構造面からの配慮事項を充実するとともに、ステンレス鋼及びステンレス鋼部材の材料・部材強度、溶接止端部処理による疲労強度向上法等に関する情報を示しました。

本示方書は、鋼構造にたずさわる研究者や技術者のみならず、鋼構造技術者を目指す学生にとっても有意義と考えられます。また、今後、鋼・合成構造物に求められる各種性能と限界状態を理解する上で必要不可欠な内容が網羅されています。

今般、改定された「鋼・合成構造標準示方書 総則編・構造計画編・設計編」についての内容を紹介する講習会を下記のように開催することと致しました。是非ともご参加いただけますよう、ご案内致します。

記

- 日 時：2022年12月9日（金）13:30～16:30
- 場 所：オンライン（ZOOM）
- 参加費：会員 8,000円、非会員 10,000円、学生 5,000円

※参加費にはテキスト代を含みます。

- 定 員：200名

- プログラム

13:30～13:40 開会挨拶・概要説明

野阪 克義（立命館大学）

13:40～14:55

総則編；構造計画編

小林 裕介（鉄道総合技術研究所）

設計編 第1章 総則；第2章 作用；第9章 社会・環境適合性

小林 裕介（鉄道総合技術研究所）

第3章 材料

高木 優任（日本製鉄）

第4章 構造解析；第5章 部材の耐力；第6章 安全性；第13章 板構造

宮下 剛（長岡技術科学大学）

水口 知樹（横河ブリッジ）

小室 雅人（室蘭工業大学）

休 憩 (10分)

15:05~16:25

第7章 使用性; 第8章 耐久性; 第11章 連結部

内田 大介 (法政大学)

橋本 国太郎 (神戸大学)

第10章 部材; 第12章 骨組構造物

南口 浩志 (パシフィックコンサルタンツ)

有村 健太郎 (オリエンタルコンサルタンツ)

第14章 床版

山内 誉史 (エム・エム ブリッジ)

第15章 合成桁

谷口 望 (日本大学)

16:25~16:30 閉会挨拶

村越 潤 (東京都立大学)

●申込方法

土木学会ホームページ (<https://www.jsce.or.jp/events>) からお申込みください。

お申込み後のキャンセルはできませんのでご注意ください。

Zoom のアクセス URL は、開催日前日に参加申込時の記入メールアドレス宛に連絡予定です。

テキストは郵送致します。11月27日までに決済完了の場合、開催日前日までには到着予定です。

※28日以降の場合は開催後の発送になりますので予めご了承の上お申込みください。※コンビニ決済はタイムラグが発生する可能性があるため、11月24日までの決済完了をおすすめいたします。

申込み期限 クレジットカード決済: 2022年12月7日 (水)

コンビニ決済: 2022年11月30日 (水)

●問い合わせ先

土木学会 研究事業課 鋼構造委員会 担当事務局宛

Mail: momoi "at" jsce.or.jp (at を@に変えてください)

●CPDについて

本行事は土木学会 CPD 認定プログラムです。(申請中)

●各 CPD システム利用者への対応について

CPD の取得には行事への事前申込みかつ事後設問の回答が必須になります。

・土木学会 CPD システム利用者様: 参加者ご自身による CPD システムへの「自己登録」をお願い致します。

・建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD システム利用者様: 各団体のルールに沿って、CPD 単位の申請をお願い致します。

※土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。

土木学会で証明する単位が各団体のルールにより認められないことがあります。

土木学会では他団体の運営する CPD 制度に関しては回答致しかねます。